# ハサヌディン大学にバイオマス機器を設置

## 概要

真庭市とマカッサル市は、「真庭モデル」を参考に、生ごみなどの有機系廃棄物循環システムの構築を目指しており、今年で2年目になります。

2025年9月にパイロット活動として岡山大学との交流が盛んなマカッサル市のハサヌディン大学にバイオマス機器を設置し、大学内における有機系廃棄物の処理を開始しました。

今後は、JCM設備補助事業に向けて真庭市とマカッサル市だけでなく大学間や様々な機関との連携を強化し、マカッサル市における有機系廃棄物の循環システムの構築を実現していきます。

## 写真